

(別紙3)

神奈川県における効果的な捕獲に係る新技術の地域実証評価報告
(効果的捕獲促進事業)

1 対象指定管理鳥獣の種類、技術名、実証地域及び時期

指定管理鳥獣名	イノシシ
技術名	わな捕獲に係る遠隔監視システム
実証地域	横須賀三浦地域
実証時期	令和4年8月 ～ 令和5年3月

注：実証地域の位置が分かる地図を添付すること。

2 現状の指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲の状況及び課題等

横須賀三浦地域では近年イノシシが分布するようになり、分布拡大防止に向けた早急な対策が必要とされている。
わなの遠隔監視装置を活用した地域住民による捕獲は、県内各地域で試行されてきたが、スマホ・タブレットやPCによる監視は地域住民にとって抵抗が大きく、活用しづらい課題があった。

3 地域実証する技術の概要

インターネットを介さないわなの遠隔監視手法として、わな用の電波発信機と受信機を活用したイノシシ捕獲方法を試行する。

- ・狩猟用小型発信機 NW3000 または NW5000 ((株) NATEC 製) をイノシシ捕獲用くくりわな 10 基に設置
- ・動物発信機専用受信機 ((株) サーキットデザイン製) で発信機からの電波を受信

狩猟用小型発信機



受信機



注：実証する技術の写真や内容等の概要が分かる資料を添付すること。

4 具体的な実証の方法・内容

わなの遠隔監視装置を活用した効率的な捕獲手法による効果を検証し、個体数の減少、生息分布の縮小及びCSF感染拡大リスクの低減を図った。

1 現地踏査

くくりわなの設置前に現地踏査を行い、イノシシの痕跡等から設置箇所を選定した。

2 くくりわな・発信機の設置及び移動

選定した場所にくくりわな及び発信機を設置し、位置情報をGPS機器等で記録した。

3 わなの稼働と稼働状況の見回り

発信機の作動状況を1日1回、受信機により確認し、わなの稼働が確認された場合は現地で捕獲の有無を確認した。

わなの状況等を週に1回、くくりわな及び発信機の設置場所に赴いて確認した。

捕獲があった場合は止めさしの後、個体情報の記録、頭蓋骨の採取、捕獲個体の処理等を行った。

4 実施結果

・捕獲実施期間：令和4年11月3日～令和5年2月5日

延べ940TN（94日×10基）

・捕獲頭数：15頭

⇒第3四半期は横須賀三浦地域の捕獲のうち約1/4が本事業

・新機材による効果：

本来ならわな設置場所は原則毎日の見回りが必要なところ、7日に1度程度の見回りで運用することができた。

電波は山中でも1km程度の距離をおいても検知されることが確認できた。

注1：2の課題等を踏まえた技術実証の方法や内容を具体的に記入すること。

注2：事業終了後の評価報告においては、注1を踏まえ、その評価結果を具体的に記入すること。

5 その他

注：地域実証に当たって、特記すべき事項があれば記入すること。

(別添) 実施地域

